

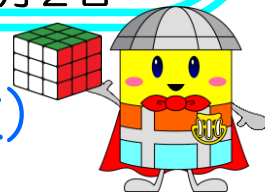
Rb まるい校舎

加古川市立川西小学校

校長室だより 第18号

令和6年12月2日

「ルービックキューブ&長なわとび」チャレンジ（5年生）



12月2日（月）、5年生を対象に「ルービックキューブ」と「長なわとび（8の字）」の講習会を実施しました。講師を引き受けてくださったのは、昨年度も来てくださった西宮市の宮垣先生（西宮市小学校教員）と宮垣先生の指導を受けている西宮市の小学生たち（8人）で、今回も行事の代休を利用してきてくださいました。

5年生の「ルービックキューブ」チャレンジは今回が2回目、1回目は10月21日（月）でした。前回のチャレンジから練習を重ねて、6面をそろえることができる子も増えていました。

ラバラにしたキューブを最も基本的な手順に沿ってそろえていきました。一人一人キューブの状態が違うので大勢で進めるのは大変なのですが、西宮の子どもたちの手助けもあり、みんな無事6面をそろえることができました。

また、決められた模様を一人一人が作って、最後に全員の模様を組み合わせて作る「キューブアート」も体験しました。21個のキューブで「川西小」という文字が出来上がり、歓声が上がりました。



宮垣先生には度々「ルービックキューブ」の講師としてお越しいただいていますが、宮垣先生が最も得意としているのは「長縄なわとび（8の字とび）」の指導です。ということで、せっかくの機会なので、5年生を対象に体育館で「8の字とび」の講習会も実施しました。

長なわとびは、大勢が集まって活動できる楽しい遊びというだけでなく、リズム感や調整力、持久力などを伸ばすことができる運動です。集団で行う運動であるため、相手と自分の考えを伝えあったり、集団でまとめた考えに合わせたりする場面があり、遊びながらコミュニケーション能力や社会性を高める効果もあります。

今日は、5年生1・2組が合同で宮垣先生からターナーの役割やジャンパーの心得について指導を受けました。指示されたなれない動きに戸惑う子もいましたが、みんなで熱心に練習に取り組みました。

宮垣先生の「5年生だけにキューブの指導をしたけど、これからたくさんの子ができるようになって、他の学年にも広めてください。」「キューブもなわとびも、練習すればうまくなるけど、練習しなければできなくなるよ。」という言葉を実感した表情で聞いていた子どもたちの今後の活動に期待したいと思います。